

生協ひろしま
フードバンクで連携
NPO法人

賞味期限の迫った菓子や缶詰

食料に困っている人へ

09.2.7日

生協ひろしまは6日、店舗で売れ残った商品を、生活に困っている人たちに無償で提供するフードバンク事業を、NPO法人「あいあいねっと」(安佐北区可部3)と連携して始めた。

理由で規格外になった商品を譲り受け、障害者や高齢者施設、ホームレス支援をしている団体などに提供してきた。

この日は、コープ安東店(安佐南区安東1)が、賞味期限の迫った段ボール箱分の食品を受け渡した。食品は、来週にも障害者施設などに引き渡される。原田佳子理事長は「景気が悪くなり、食べることに困っている人がさらに増える。提供は非常にありがたい」と話した。

賞味期限が3分の2以上経過した商品は販売せずに、廃棄している。そこで、店頭に出すことは出来なくても、まだ食べるものが出来る食品を有効活用しようという取り組みを始めた。

「あいあいねっと」は、食品製造メーカーから、形が悪いなどの

二酸化炭素も削減できる。地域社会に貢献できるのはうれしい」と話す。菓子や缶詰、乾燥食品など賞味期限の比較的長い食品を提供していく予定。同日、コープ高陽(安佐北区)でも受け渡しを始めた。今後、広島市の他の店舗にも広げる。

【大沢瑞季】



賞味期限が迫った食品を受け取るNPOあいあいねっとの原田佳子理事長(右)ら